

1. 当日の流れ

タイムライン(全体約20分)

1. 動画放映(約8分)
 - 卒業メッセージ動画の放映
 - 最後に「ここから飛び立とう」のメッセージを表示
2. 菅さん登場(約1分)
 - 最後のサプライズワークの案内
 - スライド表示への切り替え
3. 紙飛行機ワーク(8分)
 - 参加者がアクションプランを紙に記入
 - 紙飛行機を作成
 - 全員で一斉に飛ばす(「3、2、1、ウィーアーレッド」の掛け声で)
 - 写真・動画撮影
4. 締めくくり
 - 菅さんによる締めの言葉
 - (場の雰囲気に応じて)真子さんからのコメント

詳細進行

1. 開始前

- 参加者入場時に紙を配布
- 参加者はペンを持参していることを確認

2. 動画放映中

- ナツカンさんが動画を操作

3. 菅さん登場時

- 動画終了後、菅さんが前に出る
- 「最後のサプライズワークをさせていただきます」と案内

4. スライド表示

- 1枚目: 菅さんが前に立ったタイミングで表示
- 2枚目: 菅さんが「こちらになります」と言った後に表示

5. 紙飛行機ワーク実施

- タイマー開始(8分間)
- 参加者がアクションプランを記入
- 紙飛行機を作成
- 撮影準備(全員が写るように配置)
- 音楽準備

6. 紙飛行機を飛ばす瞬間

- 写真撮影と動画撮影
- BGM再生
- 全員で一斉に飛ばす

7. 締めくくり

- 菅さんによる締めの言葉
- 場の雰囲気によっては真子さんにコメントを求める
- 拍手で終了

2. 企画メンバーの分担内容

事前準備担当

なっかん

- ビデオの編集と完成
- ビデオ最後に「ここから飛び立とう」追加
- 会場の音響・映像設備との互換性チェック
- スタンド持参

すが

- 説明の練習
- 感情的転換のための言葉かけの準備

モーリー

- スライド資料の最終調整

すえたけ

- タスク進捗の確認

茂

- まなりんさんから360度カメラを借りる
- 参加者にマジックペンの持参をアナウンス

柳

- 折り紙の持参

当日の役割分担

物品配布担当: 柳、末武、モーリー

- 入場時に折り紙を配布
- 運営スタッフにペンを配布

技術担当: なっかん

- 投影用パソコン操作
- 動画再生
- スライド表示
- BGM担当
- モニター接続確認

ワーク説明担当: すが

- 全体の説明と進行
- ワークショップの締め言葉

タイムキーパー: 茂

- ワーク全体の時間管理(8分間)
- 残り時間のアナウンス

全体記録係: 全員

- ワーク全体の様子を撮影
- 特に参加者の表情や紙飛行機を飛ばす瞬間

3. 留意点

全体

- 時間管理: 全体で20分程度に収めるよう意識する
- 雰囲気づくり: 参加者の感情的な反応を大切にする
- 連携: メンバー間で声を掛け合い、スムーズな進行を心がける

準備関連

- 参加者には事前にペンの持参をアナウンスする
- 運営スタッフ用にペンを準備(合計約10本): 各企画メンバーが2〜3本ずつ持参する
- 紙は入場時に配布する
- 機材トラブルに備えて、もう1人がパソコンをすぐ出せる状態にしておく

動画・音楽関連

- 動画の最後は感動的な雰囲気です「ここから飛び立とう」に繋げる
- YouTube再生時にCMが入らないよう、プレミアムアカウントで再生
- BGM「We Are Red」を紙飛行機を飛ばすタイミングで再生
- 可能であれば、飛ばすタイミングをサビに合わせる

進行上の注意点

- 菅さんの説明は簡潔かつ感情に訴えるものにする
- 「3、2、1、ウィーアーレッド」の掛け声は全員で元気よく
- 紙飛行機を作る時間が足りなくならないよう注意
- 締めめの言葉は状況に応じて柔軟に対応

当日チェックポイント

1. 開始前の準備確認(機材、物品、配置)
2. 動画終了後の雰囲気づくり
3. 菅さん登場のタイミング
4. 資料表示と説明の流れ
5. 紙飛行機作成時の時間管理
6. 「3・2・1、We are Red」の掛け声と紙飛行機投げのタイミング
7. BGM「We Are Red」の再生タイミング
8. 写真・動画撮影の進行
9. 全体の振り返りと片付け